

害虫防除の新戦略

モスピラン[®] 顆粒水溶剤



●有効成分：アセタミプリド…20.0% ●殺虫剤分類 4A ●人畜毒性：医薬用外劇物

- 幅広い効果 各種作物の重要害虫に、幅広く、優れた効果を発揮します。
- 浸透移行性 優れた浸透移行性により、巻葉性のアブラムシや潜葉性のハモグリガに有効です。
- ミツバチ・マルハナバチに影響が少ない
- 粉立ちが少なく、使いやすい



ミツバチ・マルハナバチに影響が少ない薬剤です。

適用害虫と使用方法

*印は、収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびアセタミプリドを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期*	総使用回数*	
					本剤	アセタミプリド
りんご	アブラムシ類、シンクイムシ類、キンモンホソガ	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	キンモンハモグリガ、カメムシ類、リンゴウタムシ	4,000				
	カイガラムシ類、モモチョッキリゾウムシ	2,000				
なし	アブラムシ類、シンクイムシ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	カキノヒメヨコバイ、カイガラムシ類、カメムシ類	4,000				
ぶどう	アブラムシ類、アザミウマ類	2,000~4,000	200~700	14日	1回	1回
	フタデヒメヨコバイ、コガネムシ類成虫	2,000				
おうとう	ツマグロアオカスミカメ、トビイロトラガ	2,000	200~700	前日	3回	3回
	ブドウトラカミキリ	2,000				
もも	カイガラムシ類、クビアカツヤカミキリ	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	オウトウショウジョウバエ、カメムシ類	4,000				
ネクタリン	アザミウマ類	2,000	200~700	前日	3回	3回
	アザミウマ類、アザミウマ類	2,000				
小粒核果類(すもも、うめを除く)	アブラムシ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類、クビアカツヤカミキリ	2,000				
うめ	アブラムシ類	2,000~6,000	200~700	前日	3回	3回
	ケシキスイ類、ノコトガリキリガ	2,000				
すもも	カイガラムシ類、クビアカツヤカミキリ	2,000	200~700	前日	3回	3回
	シンクイムシ類、アブラムシ類、スモモミハバチ	2,000~4,000				
びわ	アブラムシ類、カミキリムシ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	カイガラムシ類、ヒウキジラミ	2,000				
いちじく	アザミウマ類、キボシカミキリ、カイガラムシ類	2,000	200~700	前日	3回	3回
	イチジクヒトリモドキ	2,000				
マンゴー	アザミウマ類、カイガラムシ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アザミウマ類、カキノヒメヨコバイ	4,000				
かき(葉)	カイガラムシ類、カキノヘタムシガ、カメムシ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類、ゴマダラカミキリ成虫	4,000				
かんきつ	カイガラムシ類、ミカンハモグリガ、ミカンバエ	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類、アザミウマ類	2,000				
さるなし	アブラムシ類	4,000	200~700	前日	3回	3回
	ゴマダラカミキリ※1	200~400				
オリーブ	クワシロカイガラムシ	2,000	200~700	前日	3回	3回
	カメムシ類	2,000				
キウイフルーツ	キウイヒメヨコバイ	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	カイガラムシ類	2,000				
レイシ	カイガラムシ類	4,000	200~700	前日	3回	3回
	ゴレンシ	2,000				
かりん	ナシヒメシンクイ	2,000	200~700	前日	3回	3回
	カイガラムシ類	4,000				
パッションフルーツ	アブラムシ類、カイガラムシ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	クリミガ、クリシキゾウムシ	2,000				
くり	アブラムシ類	2,000	200~700	前日	3回	3回
	モモノゴマダラノメイガ	2,000				
あけび(果実)	アブラムシ類	4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	4,000				
アセロラ	オウトウショウジョウバエ	4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類、アザミウマ類	4,000				
さんしょう(葉)	アブラムシ類	200	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	200				
さんしょう(果実)	ゴマダラカミキリ幼虫※2	200	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	200				
たらのぎ	センノカミキリ	2,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	2,000				
樹木類(まつ、やなぎ、さくらを除く)	グンバイムシ類	2,000	200~700	前日	3回	3回
	クビアカツヤカミキリ、グンバイムシ類	2,000				
さくら	グンバイムシ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	ヤナギコハモグリ	4,000				
やなぎ	アブラムシ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	4,000				
またばこ	アブラムシ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	2,000~4,000				
茶	チャノドリヒメヨコバイ	4,000	200~700	前日	3回	3回
	チャノキイロアザミウマ、チャノホソガ	4,000				
てんさい※3	アブラムシ類	200	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	200				
びやくし	アゲハ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アゲハ類	2,000~4,000				
おけら	アブラムシ類	2,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	4,000				
なんてん(葉)	アザミウマ類	4,000	200~700	前日	3回	3回
	アザミウマ類	4,000				
ソルガム	アブラムシ類	6,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	4,000				
飼料用とうもろこし	アブラムシ類	4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	4,000~8,000				
めいこ牧草	アブラムシ類	8,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	2,000~8,000				
いね科牧草	アブラムシ類	2,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	4,000~8,000				
しよくようほおずき	アブラムシ類	8,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	2,000~8,000				
食用ゆり	アザミウマ類	2,000	200~700	前日	3回	3回
	アザミウマ類	4,000~8,000				
食用花(食用ぎく、食用ミニバラ、食用金魚草、食用プリムラを除く)	アブラムシ類	8,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	2,000~8,000				
食用ぎく	アザミウマ類	2,000	200~700	前日	3回	3回
	アザミウマ類	4,000~8,000				
食用ミニバラ	アブラムシ類	8,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	2,000				
食用金魚草	アブラムシ類	4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	2,000				
食用プリムラ	アザミウマ類	2,000	200~700	前日	3回	3回
	アザミウマ類	4,000				
食用さくら(葉)	アブラムシ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	2,000				
花き類・観葉植物(ストック、りんどうを除く)	アブラムシ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	2,000				
ストック	アザミウマ類	2,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類、リンドウホソハマキ	2,000~4,000				
りんどう	アブラムシ類、アザミウマ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	2,000				
キャベツ	アブラムシ類	1,000~2,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	2,000~4,000				
はくさい	アブラムシ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	4,000				
ブロッコリー	アザミウマ類、コナガ、アオムシ、アブラムシ類	2,000	200~700	前日	3回	3回
	アザミウマ類	2,000				
カリフラワ	アブラムシ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	4,000				
レタス	アブラムシ類、ナモグリバエ	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	4,000				
非結球レタス	アブラムシ類、アザミウマ類、ナモグリバエ	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	4,000				
うり類(漬物用)	アブラムシ類、アザミウマ類	2,000~4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	4,000				
ザイザイ	アブラムシ類、キスジノミハムシ	4,000	200~700	前日	3回	3回
	アブラムシ類	4,000				

*印は、収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤及びアセタミプリドを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期*	総使用回数*		
					本剤	アセタミプリド	
だいごん	コナガ、アオムシ、キスジノミハムシ	2,000	100~300	14日	1回	1回	
はつかだいごん	ダイコンサルハムシ	2,000~4,000		7日			
わさびだいごん	アブラムシ類、カブラハバチ	2,000		21日			
かぶ	アブラムシ類、キスジノミハムシ	2,000		7日			
非結球あぶらな科類 (チンゲンサイを除く)	アブラムシ類、キスジノミハムシ、カブラハバチ	4,000		14日			2回(粒剤の処理は1回、散布は1回)
チンゲンサイ				前日			2回
なばな類				45日			2回
茎ブロッコリー				7日			1回
ななたね				前日			2回
メキヤベツ				7日			2回
非結球メキヤベツ			前日	1回			
トレビス			7日	2回			
ふだんそう、エンサイ	アブラムシ類	4,000	14日	2回			
くちしや、おかひじき			3日	3回			
しそ、しそ(花穂)			14日	2回			
タラコ			3日	3回			
クレソン			14日	2回			
しゅんぎく			7日	2回			
ほうれんそう			3日	1回			
なすな、ははこくざ			21日				
ハリセリ	アブラムシ類、シロオビノメイガ	8,000	7日	1回			
アマランサス(莖葉)			3日	1回			
タイム、バジル			21日				
チャービル、ディル(葉)			7日	3回			
セシジ			14日	3回			
レモンパーマ	アブラムシ類	4,000~8,000	7日	3回			
つるな			前日	3回			
マジヨラム			7日	3回			
はっか、オレガノ			前日	3回			
にがり、オクラ			7日	3回			
メロン			前日	3回			
まくわうり			7日	3回			
かぼちや	アブラムシ類、ウリハムシ	4,000	前日	2回			
	カボチャミバエ、ウリノメイガ	2,000		3回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布及び定植後の株元散布は合計2回)			
	ウリハムシ	4,000		3回			
きゅうり	アブラムシ類、ウリノメイガ	2,000	前日	5回(粒剤の定植時までの処理は1回、2%粒剤の定植後の株元散布は1回、散布、くん煙及び1%粒剤の株元散布は合計3回)			
	アブラムシ類、アザミウマ類	2,000~4,000		3回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計3回)			
すいか	ウリノメイガ、コナジラミ類	2,000	3日	4回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計3回)			
	ウリハムシ	4,000		4回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計3回)			
	ウリハムシ	4,000		4回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計3回)			
なす	アブラムシ類、アザミウマ類	2,000	前日	3回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計2回)			
	アブラムシ類、アザミウマ類	2,000~4,000		3回(粒剤の定植時までの処理は1回、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計2回)			
	テントウムシダマシ類、コナカイガラムシ類	2,000~4,000		3回(定植時の土壌混和は1回、散布は2回)			
トマト、ミニトマト			3回	3回			
ピーマン	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類	4,000	前日	2回(定植時の土壌混和は1回)			
とうがらし類 (ししとうを除く)	アブラムシ類	8,000	2回	2回(定植時の土壌混和は1回)			
ししとう			3回	3回			
にら	アブラムシ類、アザミウマ類	4,000	2回	2回			
にんにく	アブラムシ類、アザミウマ類、ネギコガ	2,000~4,000	14日	3回			
らっきょう			7日	3回			
たまねぎ	アザミウマ類	2,000	前日	3回(は種時の土壌混和は1回、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は合計1回)			
ねぎ			7日	4回(土壌混和は1回、散布は3回)			
わけぎ、あさつき	アブラムシ類	8,000	※4	1回			
みつば	アブラムシ類、アザミウマ類、ナモグリバエ	4,000	7日	2回(定植時の土壌混和は1回)			
セルリー	アブラムシ類	4,000	21日	1回			
モロヘイヤ	コナジラミ類	2,000	前日	2回(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計2回)			
いちご	アブラムシ類、カキノヒメヨコバイ	2,000~4,000	7日	3回(植付時の土壌混和は1回、植付後は3回)			
かんしょ	アブラムシ類、ヨツモンカメノコハムシ	4,000	21日	3回			
	アブラムシ類	2,000~4,000		5回			
	アブラムシ類	2,000~6,000		2回			
	ジャガイモガ	2,000		2回			
やまのいも	アブラムシ類、アザミウマ類、ナガイモコガ	4,000	7日	3回			
やまのいも(むかご)			21日	5回			
やまのいも(種芋栽培)			7日	2回			
麦類			14日	2回			
とうもろこし(子実)	アブラムシ類		前日	3回			
未成熟とうもろこし			7日	3回			
豆類(種実)	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類	2,000~4,000	14日	3回			
(ただし、たけいすいんげんまめを除く)			7日	3回			
だいず	マメシロイガ、フタスジヒメハムシ、カメムシ類		前日	4回(は種時または定植時の土壌混和は合計1回、散布は3回)			
いんげんまめ	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類	4,000	7日	3回			
豆類(未成熟)	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類	4,000	前日	2回			
(ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどうを除く)			14日	3回			
さやえんどう	アブラムシ類	2,000~4,000	7日	3回			
さやいんげん	アブラムシ類、アザミウマ類、カメムシ類	4,000	前日	4回(は種時または定植時の土壌混和は合計1回、散布は3回)			
えだまめ	アブラムシ類、フタスジヒメハムシ、マメシロイガ	4,000	7日	3回			
にんじん、あしたば	アブラムシ類、キアゲハ	2,000	前日	2回			
ヤングコーン	アブラムシ類	2,000	7日	2回			
アスパラガス	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類	4,000	前日	3回			
わらび	ジュウシボシクビナガハムシ、カメムシ類	4,000	2回	2回			
らび	ルイスコムツキモドキ	4,000	14日	3回(粒剤の株元散布は1回、散布及びくん煙は合計2回)			
ふき	コナジラミ類	3,000					

使い方:散布 ※1 かんきつ(果実)のゴマダラカミキリに対する200~400倍液の使用は、主幹から株元に散布 ※2 さんしょう(果実)のゴマダラカミキリ幼虫に対する200倍液の使用は樹幹散布 ※3 てんさいは苗床灌水 ※4 みつばの収穫7日前まで但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- なしに使用する場合、品種により薬に黒変の薬害を生じることがあるので注意してください。
- ①薬害が認められた事例がある品種
長十郎、新高、八雲及び愛甘水
- ②薬害が認められていない品種
二十世紀、新水、幸水、豊水、新星、ゴールド二十世紀、新興、晩三吉、愛宕、新雪、今秋秋、新世紀、豊月、秋甘泉、新甘泉、なつひめ、あきづき、涼月、夏さやか、おさゴールド、王秋、秋葵、筑水、八里、多摩、南水、越後錦、秋水、長寿、春菊、ラフランス、ルレクテエ、マルグット及びヤーリー
- ぶどうに対しては、幼果期から果粒肥大期の散布は、果粉の溶脱のおそれがあるので使用は避け、新梢伸長期から落花期及び袋かけ以降に使用してください。
- メロン、うり科作物に対しては薬液に薬害を生じるおそれがあるので、使用濃度、使用量を厳守し、幼苗期や高温時の使用をさけてください。

- かんきつに対して希釈倍数200~400倍で使用する場合、薬液が葉にかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように十分注意して散布してください。
- スモモミハバチに対して使用する場合は開花盛期から落弁期までの間に使用してください。
- 蜜に対しては長期毒性があるので、近くに桑園のある場合には絶対に桑葉にかけないようにしてください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調整してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱いは十分に注意してください。
- 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の指導を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の指導を受けてください。
- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の指導を受けてください。(刺激性)
- 使用の際は、防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- 本剤の中毒に対しては、動物実験でL-メチオニン製剤、グリチルリチン製剤及びグルタチオン製剤の注射投与が有効であると報告もあります。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に、小児や、使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう、縄囲いや、立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物への影響: 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。散布後は水管理に注意してください。使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管: 密封し、直射日光を避け、食品と区別して小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に、カギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は警察に届け出てください。

注意: コナガ・アブラムシは抵抗性が発達しやすいので、作用性の異なる他の薬剤と輪番で使用し、連続散布はさけてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●使用後の空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

日農ホームページ
レイミーの農薬チャットルーム
ホームページに遊びにきてね!
レイミー

日本農薬株式会社
東京都中央区京橋1丁目19番8号
カスタマーサービス TEL. 03-6361-1414
ホームページアドレス https://www.nichino.co.jp/
2021年9月作成版(Z) CU22110S